



3月と言えば卒業式シーズンですね。例年であれば、多くの方々に祝福され卒業生が旅立つ光景が目に見えます。ところが、今年度は会場内にいる全ての方がマスクを着用していたり、在校生や来賓の姿がなかったりする等、毎年目にする卒業式とは少し違った形で行われていました。それは、言うまでもなく「新型

コロナウイルス感染予防」によるということを知ってはいるものの、私はどうしても、マイナス要素ばかりが目についてしまいました。

ところが、この詩を目にした瞬間、自分の中で変化が起こりました。

=====

「歩」は、「止」と「少」から来ています

歩く動作の中に／「止まる」動作が／ほんの「少し」含まれています

=====

これは、詩人 吉野弘（よしの ひろし）さんの『『止』戯歌（ざれうた)』という一編です。この詩は、ふと立ち止まって、自らの歩みを確かめる。時間の節目にはそんな役割があるのではないのでしょうか。

今回のように、立ち止まってはられない非常事態下で実施された卒業式において、学校や地域の方々など、その準備に費やしたエネルギーや時間などは、いかばかりだったかと気づかされました。卒業式自体の時間は短いものの、必要な要素は最低限取り入れながら、感染拡大を防ぐための措置を組み合わせ、各地で工夫して実施したことで、児童・生徒・保護者にとっては、有り難いものであったに違いありません。

「万が一」「いざという時」は、学校だけではなく、地域においても家庭であっても、必ずあるものです。そこで、どう判断し行動するかで真価が問われるものだと思います。こんな非常事態下ではありますが、みなさまの「明日」への希望となることを願いつつ、吉野さんの「自分自身に」という詩を紹介したいと思います。

=====

他人を励ますことはできても／自分を励ますことは難しい／だから-----というべきか／しかし-----というべきか／自分がまだひらく花だと／思える間はそう思うがいい／すこしの気恥ずかしさに耐え／すこしの無理をしてでも／淡い賑やかさのなかに／自分を遊ばせておくがいい

=====

「子ども」は、社会の宝物です。みんなで生きているこの社会で、「自分のできることはなんだろう？」と、通常通りではない日常だからこそ、ふと立ち止まって自らの歩みを確かめてみるのもいいかも知れません。【A】

※次回のメルマガは、4月16日（木）の配信となります。

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^)

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」（<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>）>「発行物・刊行物」

>すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索